

中学2年の息子は勉強もスポーツもこれといった成績がなく、劣等感を持ち毎日元気のない生活をしています。2学期がスタートしており、進路のことを考えると心配です。自分の考えで行動することがなく、指示待ちの生活です。困っています。  
(河沼郡・母親)

劣等感持ち元気ない息子が心配

思春期独特の自我意識が苦しみの背景を理解する②親子で話しして有効です。育ち、自立への一歩を踏み出す年齢ですが、マイナス思考が重なる①学校外で、他人との比較でなく長や家庭で活躍の場や認められる体験がない②将来の進路を育てる雰囲気弱い③他人との比較で学校や家庭生活を見る④自尊心を傷つけられたトラウマ(心的外傷)を引きずっているーが考えられます。改善には①劣等感は大きく伸びるための宝と受け止め、苦しみの背景を理解する②親子で話しして有効です。この世に生を受けたということは、何かしら世の発展のための役割を持って生まれたのだということを話してください。進路を親子で話し合い、希望を育てましょう。五体満足であることに感謝し、何事にも挑戦すれば新しい発見があることを伝え、人生を創造させてください。

回答者

喜多方市教育問題対策協議会委員長

水戸昇

この世に生を受けたという